

2019 Spring



自動車整備の最新がわかる ANZEN NEWS

HARGE VOI 83

1 TOPICS #36回 オートサービスショー2019

出展のご案内

02 ユーザーズレポート

№ 沖縄トヨタ自動車株式会社 トヨタウン名護店

▼ 愛知日野自動車株式会社 豊橋営業所

特集 車輪脱落防止のための緊急対策

()8 新商品のご紹介

TOPICS

オートサービスショー2019

出展のご案内

前回と会場が 異なりますので ご注意ください

2019 5.16 (Thu) **5.18** (Sat) 東京ビッグサイト 青海展示棟A⋅Bホール







つながる未来~

皆様のご来場を心よりお待ちしております! ホームページにて、新着情報を随時公開中! https://www.anzen.co.jp/event/autoservice





新商品紹介

近日発売

非接触式 アライメントテスター

ARGOS



- ●カメラを搭載した4本の柱の内側に車両を乗り入れるだけで 自動でアライメント測定が可能
- ●ターゲットの取り付け不要。わずか5秒で測定完了

エーミングサポートツール



- ●距離が記載された専用マットでターゲットの位置出しをサポート
- ●ラインレーザーを活用して専用マットの位置出しを効率化

近日発売

落下防止装置シリーズ



パイプ式

- ●フロアリフト開口部を カバーする落下防止
- ●視認性の良いパイプ式
- ●耐荷重150kg

沖縄営業所 TD(098)876-3873代

TEL(0263)45-2181(ft

新発売



点検ピット向け シャッター式

- ●ピット全長をカバー する電動式落下防止
- ●無線リモコン仕様で 開閉操作がラクラク
- ●耐荷重150kg

ANZEN 〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25 TEL(03) 5441-3412 FAX(03) 5441-8848 安全自動車株式會社 ANZENホームページ http://www.anzen.co.jp

札. 幌 支 店 札幌市中央区南19条両8-2-21 仙 台 支 店 仙台市宮城野区日の出町2-2-8 TEL(048)447-6881(代) 東 京 支 店 東京都港区芝浦4-16-25 TEL(03)5441-3413(ft 名古屋支店 名古屋市中川区山王1-4-30 TE (054) 236-5066(# 岡山営業所 私(086)434-0259(利) 広島営業所 TL(082)832-3630代 TEL(087)843-6531(ft)

福 岡 支 店 福岡市東区多の津3-7-7 南九州営業所 11(0.96)370-7011(代)

(株)松本安全 松本市大村383-11

保守点検のおすすめ

ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス(有料)のご利用をおすすめします。 お近くの支店または営業所までお問い合わせください

0120-01-6361 当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記へ 受付時間:月~金(AM9:00~PM5:00)

https://www.anzen.co.jp

- ●発行所/安全自動車株式会社 マーケティング部 東京都港区芝浦4-16-25
- ●ANZEN NEWS CHARGE 83号 (2019年4月1日発行)
- ※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。





女性・高齢者エンジニア採用にも注力

人手不足が深刻化している昨

今

誰でも働きやすい環境に。

それぞれ別に用意するなど職場環境も

名おり、シャワー

ル

ムは男

女で

に検討している同店。女性エンジニアが

を見据え、女性や高齢者の雇用を前向き 地域的にも労働力が減少していること るよう

「見える化」

されています。

見渡せる場所に設置。大きなガラス窓に

はお客様が愛車の整備状況を確認でき

ないような工夫がされており、ウェイティ

ムを店舗内の整備スト

また、お客様の待ち時間にも退屈させ 軽減や労働環境改善に尽力しています。 徹底しています」(上原部長)。

夏場の

暑さ対策には各スト

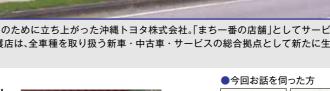
ルにスポットク

を設置するなどエンジニアの負担

必要があり、安全に作業ができるよう を決め、エンジニア全員で共有していく 作業をする場合では、新たな作業手順

沖縄 日 タ 力 3 タ

共同店舗 自動車株式会社 ラ沖縄株式会社



戦後の沖縄復興、地域の人々のために立ち上がった沖縄トヨタ株式会社。「まち一番の店舗」としてサービスカ の向上を図るトヨタウン名護店は、全車種を取り扱う新車・中古車・サービスの総合拠点として新たに生まれ 変わりました。

●店舗情報 沖縄トヨタ自動車株式会社 トヨタウン名護店

TOYOTA

法人も多いため、マイクロバス・

整えています。

「今後の将来を見据えて

トラックなどの入庫対策として゛ツイン

を導入しました。「トヨタ店

入れていきたいです

ą

いずれは子育て

女性や高齢エンジニアの雇用にも力を

とカローラ店では整備作業における

工程が異なる部分があります。

短時間

が理想です」(當眞部長)。 エンジニア

環境を創

出

することで

しながら働ける環境を用意できること

検など複数人で危険の伴うリフ

お が

客様 働きやす

へ の

サ

ービス品質

向

上に

つながっていくことでしょう。

沖縄県名護市宮里875-20 TEL: 0980-52-3300 従業員:39名 (エンジニア:12名)

ヨタウン名護店

観光地で旅館が多く点在してお 作業によって使い分けています。

お客様には送迎バスを保有

してい

沖縄本島北部の

タイプとア

ム式の

デルネオリフト

考慮し選定しました。

リフトは2ウェイ

作業効率化、エンジニアの負担軽減を

、ます。

整備機器については安全性と

を導入し、クイック整備、

重整備など

また





トヨタカローラ沖縄株式会社 営業本部 営業本部 サービス部 部長 サービス部 部長 上原 将弘 様 當眞 正樹 様

地域と歩んできた歴史と共に。

と作業効率化を図るために、 は

考えられたサ

-ビス工場は、

. 10 スト っさを第

検査ラインで

レ

イア

ウ

され

7

エンジニアの働きやす

-

0)

力

ラ

で

追求したサ

・ビス工場

トカラー

安全性、効率化、サ

ービス力向

上を

広大な地域をト 今も変わりません。 から立ち上がった会社で、その想いは 地域の人々のためになりたいとの想い 運搬のための足がありませんでした 「戦後の沖縄では、 言えるでしょう。 歩んできた店舗だからこそのカラ から選定されました。地域とともに 沖縄本島北部の琉球藍という藍染物 しました。 藍色で す。 同店のコーポレ 同店独自

人々の移動や物資の

フォロ していきます」(當眞部長)。

沖縄株式会社 名護店の全車種併売の 株式会社 名護店とトヨタ 北部に出店していた沖縄トヨタ自動車

共同店舗として移転・新築オープン

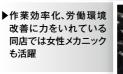
▲台風の横風で工場内に雨が侵入するのを 防ぐため、工場シャッターの内と外に グレーチングを設置



▲受付カウンターには両店のお客

様情報が確認できるモニターを

配備。スタッフ全員が分け隔てな





▼2ウェイタイプの・アルネオリフト・は ・アルネオリフト・は重整備に活用。 ・アルネオリフト・は重整備に活用。



◀待合室では大きなモニター が設置され、ガラス窓からは 愛車の整備の様子を見学。 お客様を退屈させない工夫 が随所に





お客様はもちろん、従業員も魅力を感じる工場に

営業担当者の声

、沖縄本島

カロ

ラ

ヨタウン名護店は集客力

 σ 向

新工場完成まで約1年半にわたり、打ち合わせをさせていただき ました。メカニックが効率よく作業できる工場にしたいとの思いで

様々な提案、意見交換をさせていただきながら完成した工場です。 今後は、アフターメンテナンス までしっかりサポートさせて いただくのが我々安全自動車

の使命です。これからも お力になれるよう取り組んで まいります。

(左:上原部長、中央:當眞部長

右:沖縄営業所 垣花)

2

今後は多くのメカニ

ックに講習を受

在は4名しか作業ができませんが、 務特別教育、の受講が必要なため、現 う万全の対策を整えています。「^ゴ 業など、高所作業を安全に行えるよ

リ フ

、はヘゴンドラ取扱い業

年間約1

0 0

0

0

0

台

もの

入庫数を

スム

ズな受入を実現

▶新車レーンに設置された。エア式ゴンドラリフト。上下の走行レールに沿ってレーンを一周し、上レール、の装着でゴンドラからの落下を防止し、安全性をさらに落下を防止し、安全性をさらに

ます」(栄整備チ

4

ij

ダ

を身に付けてもらい

たい

ン操縦の免許など様々なスキ

き、同

時に玉掛

保する

ため、エア式ゴンドラリ

Ź

を採用。ハイブリッドバスのバ

ッテ

交換、エアコンの整備や板金作

冷えやす

11

リフト内部に冷暖房のダ

スを提供

しています

。夏季は熱がこもり

やすく冬季

は ま

一を実現し

お客様に最高

の

事故を防止する環境を整えてい

備と最高の職場環境づくりでES

でき、円滑な入庫管理を実現。最新設

たスタッフルームのモニター

-で確認

怪我・効率低下を防止。さらに、新車

ンには高所作業の安全性を確

を設置し、熱中症や寒さによる

式のポー

ルを設置することで、万一

装置を導入。進入部分にマグネッ

ニックの安全性を重視し、落下防止

に

は

メ

カ

程管理を行

ビス工場中央に設置され行っています。作業進捗

置するなど作業効率・ES向上

ラ

とヒ

夕

のた設

る

ゴントロ

ーラー

カニック

へ作業配分し、綿密な

る同営業所は、入庫状況を管理

-^という役割を設入庫状況を管理す

の工夫が凝らされていま

愛知日野自動車株式会社

極当業

を最大限に高めた最新鋭の工場として、より一層高品質なサービスを提供しています。

●店舗情報 愛知日野自動車株式会社 豊橋営業所

愛知県豊川市御津町佐脇浜二号地1-28 TEL: 0533-56-2061 従業員:42名 (メカニック18名)



愛知日野自動車株式会社は、2018年8月に豊橋営業所を移転新築しました。メカニックの作業効率と安全性

●今回お話を伺った方



豊橋営業所 整備チームリーダ-

誰もが「働きたくなる」最高の職場環境へ。 高効率化や安全性を追求した、最新鋭の工場が新設

ひとりの 地面積を確保 お ス工場は約2,40 所全体は約2万5,0 客様か ルー めて 故を防止す 一)。構内はす おります」(栄整備チ の国道沿い とい W スタ 、ます。 ッ

交通アクセスの良 豊橋営業所は

▲全レーン間に設置された自立式リール架台。可動式リールやパンチングボード、スポットク・

▲構内は車両動線を時計回りに統一。一方通行 の進路をわかりやすく表示



▲"フロアリフト"には落下防止装置やマグネット式ポールを設 置。リフト内は冷暖房を完備し、安全で快適な作業環境を実



納入機器

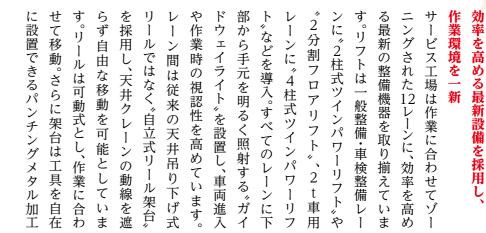
- ・エア式ゴンドラリフト
- ・4柱式ツインパワーリフト
- ・2柱式ツインパワーリフト ・2分割フロアリフト
- ・ピットリフト
- ・エア式ゴンドラリフト ・自立式リール架台
- ・ガイドウェイライト



▲さまざまな作業で活躍する"ツインパワーリフト"。各 レーンには"ガイドウェイライト"の設置で車両の進入を サポートし、手元を明るく照射

が後退せず通り抜けできる、オー とでお客様へのおもてなしを強化し 「りに車両動線を統一し、安全性を います。「新工場ができたことで らは、広くきれ ン、を採用し、移動による った声を多く るだけではなく、 し、設備を一新したこ へ移転しました。営業 フが作業に集中でき べて一方通行の時計 11 ビス工場は車 臨海型工業用地 0 0 W mį ļλ で入庫 ムリ 大な敷 ただ

ル



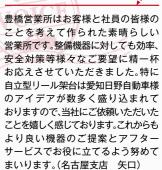
営業担当者の声

い、リニュ

ア

ル

に伴



5

事故を防止するための — つのポイント

確実な締め付け

規定の締め付けトルクで確実に締め付けてください。

Point 2 増し締めの実施

50~100km走行後を目安に増し締めを行いましょう。

Point 3 日常点検

運行前にホイールボルトやナットを目で見て触って点検しましょう。

ホイールの履き替え

適合したホイールボルトやナットを使用しましょう。

タイヤ脱着作業に用いる器具を正しく使用することや 正しい精度に校正することも事故を防ぐ上で不可欠な要素となります。



お使いのトルクレンチの精度は正確ですか?

トルクレンチの精度点検

正しい精度で締め付けするには定期的にトルクレンチの精度 点検を行いましょう。1年に1度の点検をオススメします



精度が正しくないトルクレンチでの締め付けは 『ホイールナットが緩む』『ホイールボルトが折損 する」などの車輪脱落事故が発生してしまいます

空気充填時のトラブルから作業者を守る安全対策に

TBセーフティーケージ TBC-1AT

タイヤ空気充填における破裂による事故を防ぐために タイヤケージを使用しましょう



タイヤ破裂時にはタイヤだけではなく部品や高圧空気の飛来などが 原因で、重傷事故(死亡事故含む)が発生しています



ZENCS &

トルクレンチ 精度チェッカーを 大型車の 車輪脱落事故 を起こさないために

車輪脱落防止のための

ホイール・ボルト折損による大型車の車輪脱落事故が増加しています。 それを踏まえて国土交通省より車輪脱落防止のための 『緊急対策』を実施するよう通達がありました。

大型車のホイール・ボルト折損による 車輪脱落事故の発生件数



車輪脱落の事故発生状況をみると、2017年に発生した 67件のうち44件が車輪脱落事故直前にタイヤ交換 を行っており、脱着作業の多い冬期に事故が集中。 主な事故発生推定原因は『作業ミス』が91%と大半を 占めています。

事故を防止するためには、タイヤ交換時の適正な作業の 実施や一定距離走行後の増し締めなど、地道な定期 点検・整備が重要となります。

国土交通省調べ

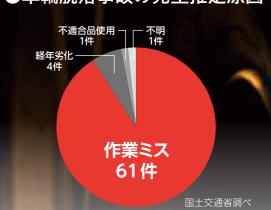
●車輪脱落事故直前に行った タイヤ脱着作業



タイヤ交換 通常タイヤから冬用タイヤへの交換など

タイヤの磨耗が偏ることを防止するため、 ローテーション 前後・左右のタイヤを入れ替える作業

●車輪脱落事故の発生推定原因



作業ミス

ホイール・ナットの締め付け不良、 タイヤ交換後の増し締め未実施、 ホイールの組み付け不良 など